

NEWS RELEASE

2009年6月19日

報道関係各位

2009年3月期(45期)個別決算概況

大塚製薬株式会社は、2009年6月19日 第45期 定時株主総会を終了しました。

2008年7月8日 大塚ホールディングス株式会社が設立され、当社は大塚ホールディングスの完全子会社として、医療関連事業分野および消費者関連事業分野の事業に取り組んでいます。

I. 当期の個別業績(2008年4月1日~2009年3月31日)

1) 経営成績 (単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
売上高	440,438	413,315	6.6%
営業利益	53,697	65,586	△18.1%
経常利益	57,385	65,297	△12.1%
当期純利益	33,379	40,118	△16.8%
1株当たり当期純利益	2,294. ⁵⁶	2,959. ⁸⁸	△22.5%

1 株当たり当期純利益の単位:円

2) 財政状態 (単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
総資産	594,767	516,379	15.2%
純資産	315,583	374,965	△15.8%
自己資本比率	53.1%	72.6%	-
1株当たり純資産	21,170. ⁷³	27,664. ⁴⁰	△23.5%

1 株当たり純資産の単位:円

3) 投資額 (単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
研究開発費	85,803	60,260	42.4%

Ⅱ. 当期の概況

1) 売上高内訳

(単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率	構成比
医療関連事業	297,035	266,909	11.3%	67.4%
消費者関連事業	143,403	146,406	△2.1%	32.6%

2) 医療用医薬品主要品目売上高

(単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
ムコスタ	36,201	35,333	2.5%
プレタール	42,124	40,254	4.6%
エビリファイ	13,211	8,686	52.1%

当事業年度においては、米国のサブプライムローン問題をきっかけとした金融不安に起因する実体経済の急激な縮小と大幅な円高が波及し企業経営を圧迫しています。また、個人消費については、大幅な雇用調整が顕著になるなど、先行き不透明感から景気悪化が深刻な状況下にあります。

医療関連事業分野においては、大手企業による M&A、アライアンスの増加など、グローバルな事業戦略の進捗がますます企業業績に影響を与えつつあります。国内においては、昨年度は業界平均 5.2%の薬価引き下げ、後発医薬品の使用促進、外資系製薬企業の攻勢等により、厳しい状況が続いています。当社の医療関連事業分野では、未解決の医療ニーズを捉えた研究・開発に注力し、世界の人々に質の高い医薬品とその情報を提供する体制の強化に努めてきました。

一方、消費者関連事業分野では、原油価格高騰に伴う原材料高に続き、昨秋以降の景気低迷による個人消費の落ち込みがより顕著となり、国内大手企業においてはこの事業分野での生き残りをかけ、海外企業に積極的に資本参加するなど、グローバル化が加速しています。当社の消費者関連事業分野では、消費者ニーズに沿った製品提供、環境に配慮した製品の育成、製品ごとのブランド構築を積極的に行いました。

その結果、当事業年度の売上高は 4,404 億 38 百万円(前期比 6.6%増)となり、経常利益 573 億 85 百万円(同 12.1%減)、当期純利益 333 億 79 百万円(同 16.8%減)となりました。

Ⅲ. セグメント情報

●医療関連事業

治療薬の分野では、抗血小板剤「プレタール」、胃炎・胃潰瘍治療剤「ムコスタ」、抗精神病薬「エビリファイ」の主力製品が、情報提供の充実と、積極的なプロモーション活動により順調に業績を伸ばし国内シェアも拡大しました。

「プレタール」は、イギリス、ドイツに加え、スウェーデン、フランス、イタリアなどで販売を開始しました。「ムコスタ」は、国内、アジア各国で順調に業績が推移しています。「エビリファイ」は、すでに世界 70 カ国以上で承認され、国内においても、適正使用情報の提供と剤形追加により処方拡大し業績に貢献しました。2009 年 1 月には「エビリファイ内用液 0.1%」が承認されました。

また、2008 年 6 月にベルギーの UCB 社と抗てんかん薬「Keppra(一般名:レベチラセタム)」及び PEG 化抗 TNF- α 抗体「Cimzia(一般名:セルトリズマブ ペゴル)」の日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結しました。

医療関連事業の売上高は 2,970 億 35 百万円、前年と比べ 11.3%の増加となりました。

●消費者関連事業

バータイプの大豆栄養食品「SOYJOY」は、グローバルブランドとしての育成に努めており、現在世界 7 カ国・地域で販売しています。国内ではアイテムの追加、積極的な営業活動により売上が順調に進展しました。2008 年 4 月には徳島板野工場に国内 2 番目となる SOYJOY 工場が竣工し、同時期に「SOYJOY」ストロベリー、同年 10 月に「SOYJOY」オレンジ葉酸プラスを発売し、さらにラインアップの充実を図っています。

「ポカリスエット」は、社会全体の環境に対する意識の高まりの中、リデュース(容器の軽量化)に取り組み、従来の 500ml ペットボトル重量の 30%の軽量化を実現しました。この取り組みが評価され、洞爺湖サミットや第 4 回アフリカ開発会議(TICAD IV)に協力しました。

「肌の健康」をテーマとした化粧品分野では、2008 年 9 月、全身スキンケアブランド「UL・OS(ウル・オス)」を発売し、男性スキンケア分野における新たな市場創造を目指しています。また、女性用スキンケアブランド「インナーシグナル」は、新処方の製品の発売、ラインアップ拡充などによるブランド強化や、カウンセリング重視の販売方法等により、売上を伸ばしました。

しかしながら、景気の減速、個人消費の低下などの影響を受け、消費者関連事業の売上高は 1,434 億 3 百万円、前年と比べ 2.1%の減少となりました。

Ⅳ. 研究開発の概況

当社の医薬品開発は、世界中の未解決の医療ニーズを満たすため、グローバルに広がる独自のネットワークを活かし、中枢神経、がんを最重点領域とし、循環器、消化器、呼吸器、感染症、眼科・皮膚科領域等を中心とした医療用医薬品の研究開発を行っています。(現在開発中の医薬品については別紙ご参照ください)

また、消費者関連事業では、「日々の健康をサポートする」というニュートラシューティカルズへの考えのもと、運動と栄養あるいは健康について科学的な根拠をもった商品開発を続けています。

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	207,155	流 動 負 債	192,169
現金及び預金	32,324	支払手形	2,217
受取手形	5,878	買掛金	47,698
売掛金	124,228	短期借入金	77,000
有価証券	165	1年以内返済長期借入金	8,016
商製品	1,457	リース債務	3,177
製成品	8,706	未払金	17,273
原材料	8,839	未払費用	17,500
仕掛品	8,270	未払法人税等	4,934
貯蔵品	2,251	前受金	119
短期貸付金	16	預り金	7,928
前払費用	8,860	賞与引当金	6,010
未収入金	1,447	役員賞与引当金	65
繰延税金資産	3,585	返品調整引当金	79
その他の他	1,128	その他の他	147
貸倒引当金	△7	固 定 負 債	87,014
固 定 資 産	387,611	長期借入金	62,127
有 形 固 定 資 産	73,713	リース債務	5,073
建物	24,899	退職給付引当金	15,681
構築物	1,934	役員退職慰労引当金	492
機械装置	9,699	債務保証等損失引当金	3,639
車両運搬具	55	負 債 合 計	279,184
工具、器具及び備品	3,762	純 資 産 の 部	
土地	20,783	株 主 資 本	315,196
リース資産	8,106	資 本 金	20,000
建設仮勘定	840	資 本 剰 余 金	44,046
その他の他	3,631	資本準備金	44,046
無 形 固 定 資 産	20,705	利 益 剰 余 金	251,149
のれん	8,826	利益準備金	1,500
特許権	7,746	その他利益剰余金	249,649
ソフトウェア	3,190	特別償却準備金	6
その他の他	941	固定資産圧縮積立金	197
投 資 そ の 他 の 資 産	293,192	別途積立金	228,282
投資有価証券	27,927	繰越利益剰余金	21,162
関係会社株式	242,248	評 価 ・ 換 算 差 額 等	387
関係会社社債	318	その他有価証券評価差額金	387
関係会社出資金	17,583	純 資 産 合 計	315,583
繰延税金資産	12,702	負 債 ・ 純 資 産 合 計	594,767
その他の他	5,610		
投資損失引当金	△13,071		
貸倒引当金	△127		
資 産 合 計	594,767		

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売上高	440,438	
売上原価	168,988	
売上総利益	271,450	
販売費及び一般管理費	217,753	
営業利益	53,697	
営業外収益	8,080	
受取利息及び配当金	5,870	
その他	2,209	
営業外費用	4,392	
支払利息	1,168	
為替差損	2,318	
その他	905	
経常利益	57,385	
特別利益	306	
退職給付制度終了益	298	
その他	7	
特別損失	5,002	
固定資産売却損	82	
固定資産除却損	296	
関係会社清算損	46	
投資有価証券評価損	3,435	
関係会社株式評価損	113	
関係会社出資金評価損	85	
減損損失	145	
債務保証等損失引当金繰入額	796	
税引前当期純利益	52,689	
法人税、住民税及び事業税	18,720	
法人税等調整額	589	
当期純利益	33,379	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

大塚製薬 開発品目一覧

開発コード または商品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
中枢神経領域						
OPC-14597	アリピプラゾール	大塚製薬	ドパミンパーシャル アゴニスト	若年者統合失調症/経口剤	欧	申請中
				自閉症/経口剤	米	申請中
				統合失調症/デポ製剤	米、欧	Phase III
				双極性感情障害躁病/経口剤	日	Phase III
				大うつ病補助療法/経口剤	欧	申請中
				大うつ病補助療法/経口剤	日	Phase III
				トゥーレット病/経口剤	韓国	Phase III
L059	レベチラセタム	UCB	抗てんかん剤	てんかん 部分発作/経口剤	日	申請中
SPM-962	ロチゴテン	UCB	ドパミンアゴニスト	パーキンソン病/貼付剤	日	Phase II
				むずむず脚症候群/貼付剤	日	Phase II
がん・がんサポーター領域						
OPC-18 (オーアイエフ)	インターフェロンα	林原生物化学研究所	天然型 インターフェロンα 製剤	高度進行 肝がん(5FU併用)/注射剤	日	Phase II
OPC-33300	サティベックス	GWファーマ シューティカルズ	カンナビノイド(THC, CBD)	がん性疼痛/口腔内スプレー製剤	米	Phase II
OPB-31121		大塚製薬	抗がん剤	抗がん剤/経口剤	米、アジア	Phase I

開発コード または商品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
循環器領域						
OPC-41061	トルバプタン	大塚製薬	バソプレシンV2 受容体拮抗剤	低ナトリウム血症/経口剤	米	承認
				低ナトリウム血症/経口剤	欧	申請中
				心性浮腫/経口剤	日	申請準備中
				常染色体優性 多発性嚢胞腎/経口剤	グローバル	Phase III
				肝性浮腫/経口剤	日	Phase II
				低ナトリウム血症/経口剤	中国	Phase II
消化器						
CDP870	セルトリズマブ ペゴル	UCB	PEG化抗TNF α 抗体	クローン病/注射剤	日	申請準備中
				慢性関節性リウマチ/注射剤	日	Phase III
OPC-6535	テトミラスト	大塚製薬	新規抗炎症剤	クローン病/経口剤	日	Phase II
OPC-12759	レバミピド	大塚製薬	消化器官用薬	潰瘍性大腸炎/注腸製剤	日	Phase II
その他領域						
ODK-0501 ラビラン肺炎球菌	肺炎球菌キット (申請中)	大塚製薬	肺炎球菌感染症 診断補助剤	肺炎球菌感染症 診断補助/体外診断薬	日	申請中
OPC-12759	レバミピド	大塚製薬	ムチン再生促進剤	ドライアイ/点眼剤	米	Phase III
				ドライアイ/点眼剤	日	Phase II
OPC-262	サクサグリプテン	ブリistol・マイヤーズ スクイブ	DPP-4阻害剤	糖尿病/経口剤	日	Phase II
OPC-6535	テトミラスト	大塚製薬	新規抗炎症剤	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)/経口剤	日、米、 中、韓	Phase II
OPC-67683		大塚製薬	抗結核薬	肺結核/経口剤	グローバル	Phase II

* 大塚製薬では、原則としてPhase II以上の試験について開示していますが、抗がん剤等はPhase Iについても公開しています。